

令和元年度 幼稚園の学校評価(園長・設置者による評価)について

幼稚園名: 聖徳幼稚園

2020年5月1日

1. 幼稚園の教育目標

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であり、健康な身体および知的関心の育成に加え、豊かな情操の芽生えを養うことが大切であり、当園は、家庭と相携えて、これを追求してゆく。このため、幼児らが、一人一人の個性を受け止める教師との信頼関係のもとに、安定した情緒の中で、他の多くの幼児と共に伸び伸びと活動し、遊びを基本とした幼児期にふさわしい様々な園生活を体験してゆくことを通して、次の様な目標が達成されるよう、適切な環境と指導を与えてゆく。①仏教的環境の中で、思いやりと感謝の心を育てる。②健康・安全の習慣を養い、運動の好きな子を育てる。③信じあう喜びを知り、社会性の芽を育てる。④自然の恵みに感動し、愛情と探求の心を育てる。⑤良い事と悪い事の区別を知り、我慢する心・努力する心を養う。⑥言葉の喜びを知り、お話や文学への興味を養う。⑦音楽や造形の喜びを知り、表現の楽しさを知る。

2. 評価項目の状況および取り組み状況など

教員による現況評価(教員Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ, 総合)

(A:十分達成されている B:ほぼ達成されている C:達成されているとは言えないが、努めている D:全く達成されていない)

No	自己評価項目項目	設置者・園長による園評価	
		評価	コメント
1. 教育課程・指導			
1-1	建学の精神や教育目標が教育活動に反映されている。	B	
1-2	幼稚園の教育課程や教育課題などについて教職員間でよく話し合い、改善に努めている。	B	
1-3	年間の指導計画や週案などが作成され、適切に教育課程が実施されている。	B	
1-4	教師間で保育について話し合い、評価・反省して次の保育に生かすことができるような体制ができている。	A	日常の会話の中で自然にできているのは良いと思う。
1-5	幼児に適した環境に整備され、遊びを通しての総合的な指導が行われている。	B	
1-6	幼児の主体的な活動を尊重し、一人一人の発達の特性に応じた指導が行われている。	A	研修受講の成果が生かされていると思う。
1-7	小学校生活に期待と憧れを持たせる機会を設け、小学校生活や学習に繋がる指導を行っている	A	
2. 健康・安全			
2-8	保健計画を立て、病気予防、換気、採光、照明、保温等の環境衛生の維持管理を行っている。	B	学校保健計画あります
2-9	健康診断(内科検診・歯科検診)の結果について保護者に伝達し、保育に反映させている。	A	
2-10	健康な心と体を育てるための食育に取り組んでいる。	B	
2-11	感染症発生時又はその予防対策を、地域の保健・医療機関と連携して取り組めるよう体制が整っている。	B	
2-12	緊急事態発生時に関係機関との連携を行うための共通理解が図られている。	B	
2-13	法定の学校安全計画や、学校防災計画を作成し、実施している。	B	学校安全計画あります
2-14	危機管理マニュアルの作成を行い、教職員が役割を把握し訓練を行っている。	B	危機管理マニュアルあります
2-15	交通安全や不審者対策、遊具の安全な使い方についての指導を計画的、継続的に行っている。	B	

3. 特別支援教育			
3-16	特別に支援が必要な幼児には、必要に応じて医療や訓練などの専門機関や専門の教育機関と連携している。	A	
3-17	特別に支援が必要な幼児には、個別の指導計画や教育支援計画を作成している。	B	
3-18	特別に支援が必要な幼児の就学相談を保護者と十分に行い、就学指導委員会と就学する小学校に適切な助言と申し送りを行っている。	A	
3-19	特別に支援が必要な幼児を取り巻く大人たちの相互理解を深め、個性の違いを認め、互いに尊重できる子どもの人権教育に配慮している。	B	
4. 組織運営			
4-20	設置者・園長は、園の方針を全教職員に明示し、リーダーシップを発揮している。	B	
4-21	園の業務について、その責任者、担当者が明確にされ、必要な人員が配置されている。	B	教職員任務分担表あります
4-22	園の財務運営について、財務分析が行われ、それに基づき予算・執行・決算などの会計業務が行われている。	B	資金収支予算書・決算書、消費収支決算書、貸借対照表等、あります
4-23	学園の決算は、適切に公開している。または、関係法令の定めにより公開できる状態にある。	B	
4-24	個人情報保護の方針が定められており、園児、保護者、ならびに教職員の個人情報が入正しく管理され、個人情報保護に関する教職員の研修が行われている。	B	
4-25	園運営の事務処理について、必要な情報化を進めている。	B	
4-26	園運営に関係する諸法令を把握して、遵守する体制を整えている。	B	
5-27	校内で幼児理解を深めるため事例検討会等が定期的に行われている。	B	
5-28	校内で保護者支援・学級運営等の学習会が定期的に行われている。	C	
5-29	幼児の事例等を記載した紀要の発行や報告書作りがなされている。	C	
5-30	他の幼稚園の公開保育や各種研修会に参加できる仕組みが整っている。	B	
5-31	臨時・非常勤教職員の資質向上に向けた取組がなされている。	C	
5-32	指導が不適切である教員の状況の把握と対応がなされている。	A	当園では、指導が不適切な教員は近年いない
5-33	上級免許や他の資格等の取得、免許の更新制等の便宜をはかることがなされている。	A	正規の教員は全て、幼稚園教諭免許と保育士資格を取得した
6. 教育目標・学校評価			
6-34	幼稚園の状況を踏まえ、本年度の重点化された教育の目標等を設けている。	C	
6-35	自己評価を年に1回以上定期的実施し、その結果を翌年度の目標等の改善へ活用している。	B	保護者アンケートは毎年行っている
6-36	自己評価の結果やそれを踏まえた改善の方策を保護者等に公表している。	B	保護者に公表している
6-37	学校関係者評価について、実施に向けて組織の構成や実施方法等について検討を進めている。	B	
6-38	家庭への連絡や意見・要望の把握等で意思の疎通を図るよう努力するとともに、保護者がいつでも相談できる体制ができている。	A	

7. 情報提供			
7-39	園の教育方針、教育内容、施設設備、保育料など、保護者に必要な情報を適切に提供している。	A	パンフや説明会で提供 さらにホームページで提供
7-40	オープンスクールなどの園公開の日を設けている、もしくは、園見学を適切に受け付けている。	A	毎月2回ほど 見学は申込みにより随時
7-41	園児ならびに保護者の個人情報について、その取り扱いについて正しく周知している。	B	
7-42	保護者に対して、園だより、クラス便りなどを使い、園の教育について適切に情報を提供している。	A	園だより、クラス便り毎月1回
7-43	園の情報をより広く提供するために、ホームページ・ブログ・メール等を活用している。	B	ホームページおよびメール
8. 保護者との連携			
8-44	懇談会や意見交換会など保護者との情報交換の場を積極的に設けている。	A	懇談会は年2回、 年度当初保護者会
8-45	保護者の保育活動への参加や、行事運営の手伝いなどの協力が得られている。	A	保護者会を通し、十分な協力を得ている
8-46	幼稚園が地域の連絡会や行事などに参加したり、地域住民が園の行事に参加したりする機会がある。	A	青少年育成協議会、地域商店街夏祭り、地区敬老会
9. 子育て支援			
9-47	子育て支援活動は、地域や保護者の実情や要望に応えられる工夫を行っている。	A	
9-48	子育ての悩みや、不安を抱えた保護者に対して、気軽に相談できる園内体制を整えている。	A	
10. 預かり保育			
10-49	保護者の実情や要望を取り入れて、預かり保育を実施している。	A	
10-50	幼稚園の目的、教育課程との関連を考慮し、幼児の負担に配慮した預かり保育を実施している。	A	
11. 教育環境整備			
11-51	施設・設備の安全・維持管理のための点検と整備をしている。(耐震診断・耐震化への取り組みを含む)。	B	耐震化100%完了
11-52	設置者と連携して、幼児がさまざまな活動するのに適した遊具・用具・図書等を整備している。	B	